

平成 2 6 年度

公益社団法人 全国大学体育連合

事業報告書

## 基本方針

関連学協会や行政との連携や国際的な交流のみならず、各種研究会を支援し、大学体育に関する堅固なネットワークの構築を目指す。

少子化による大学減少期に備えて、財務基盤を盤石にし、生産性の高い組織運営システムを確立する。

## 推進事業

### 1. 会員の参加促進

『大学体育学』投稿数増

第2回 大学体育研究フォーラムを開催した。（参加者76人、発表20件）

第2回 スポーツ健康系学科長協議会を開催した。（参加者38人）

### 2. 広くて堅固な連携

日本体育学会と共催シンポジウムを開催した。

4件の研修会に支援した。

### 3. 各事業の発展と盤石な財務基盤の確立

会費検討特別委員会を設け、会員種別と会費を見直し、改定案を作成した。

大学体育研修精励賞を5人に授賞した。

全国研修会を日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成金（1,330,000円）」の支援を受けて実施した。

以上

## 平成26年度 総務部事業報告

### I 基本方針 本連合の円滑な運営に寄与する

### II 会議関係等

#### ◇総会、理事会、常務理事会、支部長会

- 平成26年 1月30日:第1回常務理事会  
2月26日:第2回常務理事会・第1回理事会・臨時常務理事会  
3月26日:役員候補者推薦委員会・通常総会  
4月25日:第3回常務理事会  
5月23日:第4回常務理事会  
6月20日:第5回常務理事会  
7月18日:第6回常務理事会  
8月21日:臨時常務理事会・支部長会・役員候補者推薦委員会  
10月3日:第7回常務理事会  
11月7日:第8回常務理事会  
12月12日:第9回常務理事会  
12月20日:臨時常務理事会・第2回理事会

#### ◇監査

平成26年2月18日:平成25年度収支決算監査

#### ◇部会:

- 第1回 平成26年1月9日  
第2回 平成26年2月18日  
第3回 平成26年4月4日  
第4回 平成26年6月4日  
第5回 平成26年7月9日  
第6回 平成26年10月10日

### III 事業関係

- ◇ 内閣府への平成25年度事業報告(含む決算報告)の届け出(3月末日)及び事後対応
- ◇ 事務所および事務の適正な運営
- ◇ 会計処理(税務処理を含む)の執行(公認会計士へ支援を委託)  
本年度、高丸副部長が会計を担当した。  
会計士との打ち合わせを2月、4月、10月、11月に行った。
- ◇ 各支部との連携  
全国研修会が8月に明治大学にて行われた。その際、支部長会を開催した。
- ◇ 会員管理(正会員代表者届出の取りまとめ)
- ◇ 定款と諸規則改正の検討
- ◇ 機関誌・報告書のバックナンバー管理
- ◇ 役員管理(法務局への手続き等)
- ◇ 新法人制度の情報収集・事務処理
- ◇ 70周年記念事業準備金積立口座の開設
- ◇ 内閣府への平成26年度事業計画および予算の届け出(12月末日)

#### IV 会員数(平成26年12月31日現在)

		前年12月31日
国公立総合大学	40	44
国公立単科大学	20	21
私立総合大学	99	102
私立単科大学	106	111
短期大学	38	46
個人	92	78
計	395	402

賛助会員	5	4
------	---	---

#### IV事務所の業務曜日等

◇業務曜日:月～金曜日(午前10時～午後4時)の5日制。

◇職員:下野朋子、萩原梨沙

#### V構成員

部長:村山光義(慶應義塾大学)

副部長:高丸 功(学習院大学)

副部長:雪吹 誠(目白大学)

委員:石崎聡之(芝浦工業大学)

委員:田畑 亨(流通経済大学)

委員:木内敦詞(筑波大学)

委員:松倉啓太(筑波大学)

委員:桐生習作(筑波大学)

委員:福士徳文(慶應義塾大学)

以上

## 平成26年度 研修部事業報告

### I. 基本方針

以下の方針のもと、研修会に関わる事業及び業務を推進した。

- ・研修会に関わる業務を行い、研修会の充実を図る。
- ・支援補助金の交付に関わる業務を行う。
- ・大学体育研修精励賞の授賞に関わる業務を行う。

### II. 会議関係

1. 部会 1/27, 2/17, 4/3, 5/7, 6/5, 7/14, 8/4, 8/19, 9/23, 12/1(その他メール会議)
2. 研修会の開催・準備に関わる関係者等との会議・打ち合わせ

### III. 事業関係

#### 1. 平成26年度全国研修会の開催

期日：8月19日(火)～21日(木) (2泊3日)

会場：明治大学和泉キャンパス

内容：講演会、実技研修、ディスカッション、情報交換会など

後援：文部科学省

協力：大学ゴルフ授業研究会、NPO法人日本オリンピック・アカデミー

協賛：大塚製薬株式会社、株式会社デザートヘルスマネジメント研究所(ゴルフ)、ナガセケンコー株式会社(ソフトボール)、ミズノ株式会社(バドミントン)

参加人数：46名(会員36、専業非常勤6、非会員4)

\*日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成金(1,330,000円)」の支援を受けて実施

#### 2. 平成27年度全国研修会の準備・打合せ

東北支部主管により 3月2日(月)～5日(木) 八甲田スキー場にて実施予定

#### 3. 第6回指導者養成研修会の検討・準備

#### 4. 研修会の実施に要する外部資金調達に関わる活動

日本スポーツ振興センター「平成27年度スポーツ振興くじ助成金」申請

#### 5. 研修会支援補助金

- ・スノーボード研究会冬期研修会(1月21～24日実施)
- ・関東地区大学テニス研究会(5月25日実施)
- ・大学ゴルフ授業研究会(11月23日実施)
- ・大学スケート研究会(12月6～7日実施)

#### 6. 大学体育研修精励賞

小谷 究(日本体育大学)、山口太一(酪農学園大学)

白土男女幸(日本体育大学)、羽田雄一(学習院大学)、佐藤 和(東京大学)

### IV. 構成員

部長 谷藤千香(千葉大学)

副部長 後藤光将(明治大学)、柳田信也(東京理科大学)

部員 石渡貴之(立教大学)、北 徹朗(武蔵野美術大学)、白井 巧(国際基督教大学)

高橋京子(フェリス女学院大学)、西島 壮(首都大学東京)

以上

## 平成26年度 指導者養成委員会事業報告

### I. 基本方針

以下の方針のもと、研修会に関わる事業及び業務を推進した。

- ・第5回指導者養成研修会の準備を行い、内容充実と参加者満足度の向上に努める。
- ・第6回、第7回指導者養成研修会の充実に要する資金調達などの準備を行う。
- ・研修部との協働など指導者養成研修会の今後の在り方についての検討を行う。

### II. 会議関係

委員会:6回(1/27, 2/17, 4/3, 7/14, 9/23, 12/1)

その他メール会議

第5回指導者養成研修会 講習担当者との打合せ(随時メール)

### III. 事業関係

第5回指導者養成研修会

期日:2014年3月9日(日)～11日(火)

場所:立教大学 新座キャンパス(〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26)

実技種目:レクリエーショナル・ニュースポーツ, ラグビー, バレーボール

体験種目:アダプテッドスポーツ

講義テーマ:「スポーツ活動における事故防止・安全指導」(スポーツ安全協会)

大学教員キャリア開発に関するワークショップ:「就職」と「キャリア開発」

主催:公益社団法人 全国大学体育連合

後援:文部科学省, コミュニティ福祉学部

参加人数:総勢81名

宿泊先:パーシモンホテル(〒352-0001 埼玉県新座市東北2-20-3)

### IV. 構成員

委員長 : 石渡貴之(立教大学)

副委員長 : 石井秀幸(立教大学)

副委員長 : 柳田信也(東京理科大学)

委員 : 後藤光将(明治大学)

委員 : 谷藤千香(千葉大学)

委員 : 高橋京子(フェリス学院大学)

委員 : 今西平(立教大学)

以上

## 平成26年度 調査・研究部事業報告

### I. 基本方針

大学体育に関する調査研究および大学体育研究助成の実施

### II. 会議関係

調査・研究部会:1回(7/8)

その他メール会議

大学体育研究助成選考委員会(メール審議11月-12月)

### III. 事業関係

#### 1. 教育実態調査報告書の発行

平成25年度保健体育教育実態調査報告書を発行した。100校から回答いただいた教育実態に関する調査結果をまとめた。

#### 2. 体力測定結果調査の実施

体力測定結果調査を12月に会員に調査用紙を送付し、実施した。新体力テストの周知状況に関する設問を削除するなど、設問の一部を見直した。前回と同様、回答をWebとFAXの両方で受け付けることとした。来年度の3月を目標に報告書にまとめる予定である。

#### 3. 大学体育研究助成

平成25年度に交付した研究課題の報告書(論文)を受け付け、平成26年度に交付した研究課題の管理監督、および平成27年度に交付する研究課題の募集と審査の事務を担当した。

平成27年度の研究助成には、一般研究11件、特定課題研究3件の応募があり、以下の一般研究5件、特定課題研究1件に助成することを常務理事会で決定した(敬称略)。助成金額は、合計で117万6千円であった。

#### 一般研究

1. 高田大輔、高橋和将、市川浩、武田丈太郎、佐藤敏郎(新潟医療福祉大学)

「大学教養スポーツにおける車椅子バスケットボールの教育的効果の検証」

2. 石道峰典、中村友浩、西脇雅人(大阪工業大学)

「体育実技授業は社会人基礎力育成に対する教育効果があるのか？」

3. 舛本直文(首都大学東京)、小林勝法(文教大学)、後藤光将(明治大学)、師岡文男(上智大学)

「2020年東京大会のレガシー形成に寄与する大学間連携のあり方に関する総合的研究:特に2012年ロンドンPODIUMに焦点を当てて」

4. 島本好平(兵庫教育大学)、山本浩二(神戸医療福祉大学)

「自らの成長を促す「気づき」のライフスキル獲得への影響ー体育授業における「自己開示」からの検討ー」

5. 富川理充、佐藤雅幸、齋藤実、渡辺英次、平田大輔、相澤勝治、李ウヨン(専修大学)

「「体育」演習から「スポーツ」教育へと変換した大学教養体育の授業効果ー一私立大学の実践事例ー」

#### 特定課題研究

1. 北徹朗(武蔵野美術大学)、森正明(中央大学)

「オーディエンスレスポンスシステムを導入した健康教育系共通講義科目の授業実践-アクティブラーニングを促し学生の興味とやる気を引き出す教授方法と教育内容の検討-」

### IV. 構成員

部長:飯野要一(東京大学)

副部長:竹市勝(国土舘大学)

副部長:林容市(法政大学)

以上

## 平成26年度 編集・出版部 事業報告

### I 基本方針

機関誌・教育論文誌の充実を図り、各誌のスムーズな発行ができるように取り組む

### II.会議関係等

定例部会 8回 メール会議:多数回

### III.事業関係

1. 教育研究論文誌「大学体育学」11号編集・発行
2. 第5回指導者養成研修会 取材・記録出張  
会議・編集に関わる記録作成など:
3. 機関誌「大学体育」103号編集・発行(6月)  
104号編集・発行(12月)
4. 教育研究論文誌「大学体育学」12号  
投稿11編:査読審査継続中
5. 全国研修会:関東支部 東京都:明治大学和泉校舎  
(8月19日から21日)
6. 日本体育学会(岩手県盛岡市)  
講演・シンポジウムの取材・記録出張(8月26日)

### IV.構成員

- 部長 村本 和世 (日本体育大学)  
副部長 鈴川 一宏 (日本体育大学)  
副部長 武田 丈太郎(新潟医療福祉大学)  
委員 荻 浩三 (日本体育大学)  
委員 杉山 卓也 (上智大学)  
委員 園部 豊 (日本体育大学)  
委員 森 健一 (武蔵大学)  
委員 山田 盛朗 (東京都市大学)

以上

## 平成26年度 FD推進部事業報告

### I. 基本方針

大学体育研究助成や大学体育FD推進校表彰制度、調査研究などによって会員のFD活動を推進する。  
あわせて、質保証の総合的取組について検討する。

### II. 会議関係

定例部会 1回開催。  
審査委員会 1回開催。

### III. 事業関係

#### 1. 大学体育FD推進校表彰

6/1からポスターや『大学体育』、連合ホームページ、メールニュースなどで広報し、募集した。本年度は、FD推進校は、応募がなかった。

#### 2. 大学体育優秀論文賞

平成26年度の表彰対象者の審査をおこない、西脇雅人氏、木内敦詞氏、中村友浩氏の「大学体育授業時間内における身体活動量を効果的に増大させる方法の検討」を推薦した。

#### 3. 質保証の総合的取組の検討

まずは上記2種類の顕彰制度の諸手続きの透明性や整合性を高める。  
さらに従来の質保証の取組をPDCAサイクルに対応させ、発展させるべく検討をおこなった。

### IV. 構成員

部長 宮崎 正己(早稲田大学)  
副部長 白土男女幸(目白大学短期大学部) (大学体育優秀論文賞担当)  
副部長 山内賢(慶應義塾大学) (大学体育FD推進校担当)  
副部長 渡辺 英次(専修大学)

以上

## 平成26年度 広報部事業報告

### I 基本方針

会員サービス向上の見地より、広報内容および媒体等の改良を図る。

### II 会議関係

#### 1. 定例部会

- (1)平成26年4月 7日(月) 11:00～13:00 事務所
- (2)平成26年7月11日(金) 13:30～16:30 事務所
- (3)平成26年7月30日(水) 11:00～13:00 事務所
- (4)平成26年10月21日(水) 15:00～20:00 事務所ほか

#### 2. ホームページ管理者との打ち合わせ

- (1)平成26年2月18日(火) 筑波大学
- (2)平成26年6月30日(月) 筑波大学
- (3)平成26年7月23日(水) 筑波大学

### III 事業関係

#### 1. パンフレット等広報物のリニューアル

パンフレット印刷〇〇〇部、HP上電子パンフ更新

#### 2. ホームページの管理

月別の更新件数、およびアクセス数は以下の通り。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
更新	7	14	9	8	13	18	14	9	4	23	11	19
H26	13574	12284	12148	11889	11313	13919	14572	13104	18566	17484	13423	14278
H25	11916	8997	9325	9091	690	6099	10631	11616	12976	14452	12620	14222

#### 3. メールニュースの発行

月別の発行件数、および登録者数(非会員含む)は以下の通り。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
発行	8	7	4	5	8	9	10	8	3	9	9	9
登録	1587	1584	1584	1587	1589	1587	1588	1587	1590	1591	1591	1595

#### 4. 会員専用ページの新設と活用促進

検討の結果、会員・会費規定の見直し後の開設を目指すことを決定

#### 5. 支部ページの充実推進策の検討

本部ページへの情報提供(掲載)を促進する。

#### 6. サイト機能を活用した事務効率化策の検討

総務部や事務局と連携し、役員専用ページの使途・導入について検討した。

#### IV 構成員

部長 嗟峨 寿 (筑波大学)  
副部長 石崎 聡之 (芝浦工業大学)  
副部長 北 徹朗 (武蔵野美術大学)

以上

## 平成26年度 渉外部事業報告

### I 基本方針

大学体育関連団体との連携・協力を拡充すると共に、国内外の情報収集による成果を会員に提供する。また、日本体育学会と共催シンポジウムを開催する。

### II 会議関係

部会	1月20日(木)	メール会議
	2月14日(金)	日本大学(東京・水道橋)
	3月1日(土)	日本大学(東京・水道橋)
	5月21日(水)	日本大学(東京・御茶ノ水)
	7月11日(金)	日本大学(東京・御茶ノ水)
	9月27日(水)	日本大学(東京・御茶ノ水)
	11月6日(木)	日本大学(東京・御茶ノ水)

### III 事業関係

- (1) 第2回スポーツ健康系学科長協議会の開催  
期日:3月1日(土) 日本大学(東京・水道橋)  
テーマ:キャリア教育(就職支援)  
内容:講演「ジェネリックスキルの教育と就職力」  
「スポーツ健康系課程を専攻とする学生の就職支援について」  
行政説明「大学の運動部活動での暴力根絶」など
- (2) 日本体育学会第65回大会共催シンポジウムの開催  
期日:8月26日(火) 13:30～15:30  
テーマ:大学体育教員の資質向上の新しい取り組み  
内容:「体育・スポーツ学検定」(仮称)の創設  
「プレFDと教養体育インターンシップ、キャリア形成支援の取り組み」  
「筑波大学・鹿屋体育大学高度大学体育指導者養成大学院共同学位プログラム」
- (3) 全国大学体育連合運営委員懇親会の開催  
日時:8月26日(火)  
場所:岩手県・盛岡
- (4) 関連団体会議への出席  
健康日本21推進全国連絡協議会総会  
期日:2月20日(木)
- (5) 国内外関係団体との連携  
・公益財団法人日本体育協会の関係スポーツ団体加盟を検討

### IV 構成員

部長	重城 哲 (日本大学)
副部長	北 徹朗 (武蔵野美術大学)
部員	寺田佳代(国際基督教大学), 白土男女幸(日本体育大学) 難波秀行 (和洋女子大学), 中田賢一 (平成国際大学) 井上直子 (青山学院大学), 安住文子 (日本大学) 近藤克之 (日本大学), 廣瀬立朗 (桐蔭横浜大学)

以上

## 平成26年度 会費改訂特別委員会事業報告

### I. 基本方針

1. 現在の「単科大学」「総合大学」の区分を改め、大学規模(学生数や体育教員数、キャンパス数など)に応じた会費体系に改める。
2. 会費の最高額は現行の10万円とし、小規模大学は減額する。会費収入の総額は現在の2割減にとどめる。
3. 大学会員のメリットを大幅に向上させ、個人会員からの変更を促す。新規加入も増やす。
4. 外部資金や受益者負担(研修会参加費、雑誌掲載料など)、賛助会員を増やし、減収分を補う。

### II. 会議関係

1. 他部署合同会議  
2014年5月16日、6月13日、10月21日の計3回
2. 会費改訂特別委員会会議  
随時メール会議

### III. 事業関係

1. 会費改訂方針の決定
  - (1) 総合大学、単科大学の区分けを廃止し、学部収容定員数による会費区分とした。
  - (2) 体育系大学院設置大学の加算額の決定
  - (3) 入会金の改訂
2. 会費改定増減シミュレーションの実施  
会費改訂額決定による増減会員校の抽出及び2015年度大学会員校会費総額の算出を行なった。
3. 大学会員メリット増についての検討
4. 会費改定による減収分確保策  
各種研修会の実費負担、外部資金獲得の検討、賛助会員増の検討、経費節減の検討など

### IV. 委員構成

担当理事: 小林勝法(文教大学)  
委員長: 雪吹 誠(目白大学)  
委員: 越澤 亮(日本大学非常勤)

以上

# 平成26年度 復興支援事業委員会事業報告

## I. 基本方針

震災で甚大な被害を被った会員および被災者にスポーツを通じた支援を行うとともに、被災地のスポーツおよびスポーツによる復興支援を行う。  
また、これらの記録を残し、後世に伝える。

## II. 会議関係

メールによる審議を10数回行なった。

## III. 事業関係

### 1. 復興支援募金

被災地の学校体育・スポーツを経済的に支援するために募金活動を行い、被災地の以下の団体に10万円ずつ寄付した。

- ・NPO法人石巻スポーツ振興サポートセンター(宮城県石巻市)
- ・釜石シーウェイブス R. F. C (岩手県釜石市)
- ・NPO法人ひめさゆりくらぶ(福島県熱塩加納村)

### 2. 復興支援活動等補助の申請受付と審査

支援活動への補助金申請が2件有り、その審査を行い補助金を給付した。

### 3. 被災大学インタビュー調査

2014年12月3日に、石巻専修大学と宮城教育大学にインタビューした。その結果は『大学体育』105号に報告する。

### 4. 復興支援ホームページの更新

復興支援活動報告を2件掲載した。

## IV. 構成員

委員長	小林 勝法(文教大学)
委員	荒井 啓子(学習院女子大学)
	黒須 充(順天堂大学)
	高橋宗良(杏林大学)
	中村民雄(福島大学)
	村山 光義(慶應義塾大学)
	山崎 省一(石巻専修大学)

以上

## 平成26年度 大学体育関連情報調査チーム事業報告

### I. 基本方針

- ① 大学体育に関する情報を会員に提供する。
- ② 大学体育および本連合の発展に必要な研究を推進する。
- ③ 研究交流を促進するために研究集会「大学体育研究フォーラム」を開催する。

### II. 会議関係

メールやSNSを利用して、情報交換や研究を進める。

### III. 事業関係

#### 1. 大学体育関連情報マンスリーレポートの発行

毎月初めに発行し、メールニュースで通知し、ホームページに掲載した。

#### 2. 研究活動の展開

「英語で行う大学体育の授業」に関するアンケート調査を9月に行い、集計結果はホームページと『大学体育』104号に掲載した。

#### 3. 研究集会「大学体育研究フォーラム」の開催

2014年2月27日～28日、武蔵野美術大学で開催し、76人が参加し、20件の発表があった。

#### 4. 研究員の募集

2名増員できた。

### IV. 構成員

代表	小林 勝法(文教大学)
研究員	安部 久貴(北海道教育大学)
	飯田 路佳(十文字学園女子大学)
	岡田 光弘(国際基督教大学)
	木内 敦詞(筑波大学)
	北 徹朗(武蔵野美術大学)
	角南 良幸(福岡女学院大学)
	高橋 宗良(杏林大学)
	田原 亮二(名桜大学)
	中山 正剛(別府大学短期大学部)
	橋口 剛夫(帝京科学大学)
	平工 志穂(東京女子大学)
	丸井 一誠(金沢星陵大学)
	元安 陽一(秋田プロバスケットボールクラブ)

以上

## 平成26年度 課外活動支援特別委員会事業報告

### I. 基本方針

課外スポーツ活動の教育的意義は広く認められているが、近年は参加学生が大きく減少し、その支援の必要性が高まっている。そこで、連合が会員にどのような支援ができるか検討するために、課外スポーツ活動に関わっている教員や指導者だけでなく、学生部長や職員のニーズを探り、支援策を検討する。

### II. 会議関係

7回の会議のほか、メールを利用して、情報交換や研究を進めた。

(2/28,4/10,6/6,6/16,11/22,11/30,12/25)

### III. 事業関係

#### 1. 先行研究のレビュー

研究論文のほか、『大学と学生』や『大学時報』などの掲載記事、大体連調査や私大連調査、大学生協調査などをレビューして、『大学体育』103号に報告した。

#### 2. 学生部長対象調査

8月に実施し、調査結果を『大学体育』104号とホームページに掲載した。

調査結果をもとに、課外スポーツ活動の支援策について検討を始めた。

#### 3. スポーツ・クラブ統括組織調査

約100大学を対象とした調査を朝日新聞社と共同で平成27年2月に実施すべく、準備した。

#### 4. 学生競技連盟調査

学生競技連盟を対象とした調査を朝日新聞社と共同で平成27年2月に実施すべく、準備した。

#### 5. 大学スポーツ新聞編集長調査

大学スポーツ新聞編集長を対象にした調査を平成27年2月に実施すべく、準備した。

### IV. 構成員

担当理事 小林 勝法(文教大学)

委員長 北 徹朗(武蔵野美術大学)

委員 高橋 宗良(杏林大学)

委員 伊東 克(帝京大学)

委員 西垣景太(中部大学)

委員 重藤誠市郎(個人会員)

以上

## 平成26年度 地域貢献推進WG事業報告

### I. 基本方針

連合および会員による地域貢献を推進する。

### II. 会議関係

必要に応じ、随時、メールによる審議を行う。

### III. 事業関係

#### 1. 地域貢献実践研究助成

大学体育研究助成に特定課題として「地域貢献」を設けた。

#### 2. 地域貢献の事例収集と情報交換

東京オリンピック・パラリンピック大学連携実態調査を2014年12月15日～2015年1月25日に会員を対象に実施した。

### IV. 構成員

座長 小林勝法(文教大学)

委員 黒須 充(順天堂大学)

師岡文男(上智大学)

飯田祥明(上智大学)

以上

## 平成26年度 北海道支部事業報告

### I 支部総会等会議

#### 1) 平成26年度支部総会

日 時:平成26年3月16日(日)10:00～11:30

場 所:ホテル第一会館

北海道 虻田郡倶知安町南3条西2丁目13番地

内 容:平成25年度事業報告および決算

支部役員について

平成26年度事業計画および予算

#### 2) 平成26年度支部運営委員会

日 時:平成26年11月18日(火)16:00～18:00

場 所:北星学園大学

内 容:平成25年度事業報告および決算

平成26年度事業計画および予算

### II 研修会等事業

○ 冬期実技研修会「北海道支部ヒールフリースキー研修会」(仮)

テーマ:積雪地の冬季の体育:大學教育におけるスキーを中心とした生涯体育の展望

日 時:平成26年3月16日～19日

協 力:北海道教育大学旭川校

場 所:〒044-0081

北海道虻田郡倶知安町字山田グランヒラフスキー場

世話役:古川 善夫(北海道教育大学旭川校)

佐々木 敏(北星学園大学)

角田 和彦(北星学園大学)

### III その他の事業

特になし

以上

## 平成26年度 東北支部事業報告

### I 支部総会等会議

支部総会を下記の通り開催した。

日時 平成26年6月9日(日)午後4時30分～5時30分  
会場 福島大学 保健体育棟2Fスポーツ健康実習室  
議題

- 1、平成25年度事業報告,決算報告
- 2、平成26年度事業計画, 予算案

日時 平成26年12月15日(月)午後4時30分から午後6時  
会場 福島大学 情報処理センター(IPC)3F  
議題

- 1、平成26年度事業報告
- 2、平成26年度決算報告ならびに監査報告
- 3、平成27年度事業計画
- 4、平成27年度予算案
- 5、平成27-28年度の支部長および事務局体制について

### II 研修会等事業

東北地方会冬期研修会を下記の通り開催した。なおこの研修会は、平成27年3月に開催する大体連全国冬季研修会のプレ大会として開催し、宿泊地や現地ガイドとの打合せも合わせて行った。

1. 研修会名 バックカントリー研修会
2. 主催 公益社団法人 全国大学体育連合 東北支部
3. 会期 平成26年3月2日(日)・3日(月)・4日(火)
4. 会場 八甲田スキー場
5. 宿泊先 酸ヶ湯温泉旅館  
〒030-0111 青森市大字荒川字南荒川山国有林小字酸湯沢50

### III その他の事業

特になし

以上

## 平成26年度 関東支部事業報告

### I 支部総会等会議

1. 第1回運営委員会 平成26年7月12日(土)
2. 第2回運営委員会 平成26年9月27日(土)
3. メール審議複数回

### II 研修会等事業

〈第1回研修会〉

日 時:平成26年7月12日(土)13:00～

場 所:日本体育大学 深沢キャンパス 2202教室

テーマ:『大学体育における教材づくり「大学生の為の体育実技の方向性」』

講演者:白幡和也氏(日本体育大学教授)

内 容:大学生のための教材づくりについて、ご講演いただいた。教育の質保証との関係からも教材をどのように工夫して作成し、学生にどのような目的・目標を持たせながら、何を教育成果として導くのかという大変示唆に富む内容であった。

司 会:田蓑健太郎(流通経済大学スポーツ健康科学部教授)

〈第2回研修会〉

日 時:平成26年7月12日(土)13:30～

場 所:流通経済大学 龍ヶ崎キャンパス421教室およびスポーツ健康センター

テーマ:『グローバル社会における教養体育の役割』

特別講演 グローバル社会における教養体育の役割—『体育』から世界をみつめる

松浪 健四郎先生(学校法人日本体育大学理事長、元文部科学副大臣)

基調講演 ミャンマーにおける伝統スポーツ「チンロン」の社会的役割

石井 隆憲先生(日本体育大学教授)

実技研修 チンロン

特別講演では、教養体育が現在の大学教育の中で必要であること理由についてグローバル社会という視点からお話いただき、基調講演では教養体育としてミャンマーの伝統スポーツであるチンロンを取り上げる意義についてお話いただきました。ともに、今後の大学体育を考える上で、示唆に富む内容であった。

午後は、実技研修を実施したが、参加者が少数であったため、当初予定していたグラウンド・ゴルフを実施することができず、参加者全員でチンロンを行った。我が国ではないスポーツを一から学ぶことで難しさとともに楽しさ、そして、大学授業としてどういう取り入れ方ができるのか考える契機となった。

進 行:田畑 亨(流通経済大学スポーツ健康科学部准教授)

### III その他の事業

共催事業:慶應義塾大学体育研究所との共催

日時:平成26年11月29日(土)

15:30～17:30

場所:慶應義塾大学日吉キャンパス 体育研究所

内容:「大学生をどう育てるか—教養体育からの発信」

以上

## 平成26年度 東海支部事業報告

### I 支部総会等会議

平成26年度東海支部総会

日時:平成26年6月28日(土)15:30～16:30

場所:南山大学名古屋キャンパス T203教室

- 1)平成25年度事業報告
- 2)平成25年度決算報告
- 3)平成26年度事業計画
- 4)平成25年度繰越金確定に伴う平成26年度予算案の修正
- 5)東海支部運用規約変更について
- 6)日本体育学会第65回大会共催シンポジウムについて
- 7)平成26年度全国研修会(中央研修会)開催について
- 8)平成27年度支部役員について
- 9)その他

平成26年度支部運営委員会

第1回支部運営Eメール会議

日時:平成26年5月14日

- 1) ダンス研修会開催について

第1回支部運営委員会

日時:平成26年6月28日(土)14:30～15:30

場所:南山大学名古屋キャンパス T203教室

- 1)総会議題について

第2回支部運営Eメール会議

日時:平成26年10月14日

- 1) 冬期スノースポーツ研修会開催について

第3回支部運営Eメール会議

日時:平成26年10月20日

- 1)冬期スノースポーツ研修会開催について

第4回支部運営Eメール会議

日時:平成26年12月9日

- 1)冬期スノースポーツ研修会講師に関する問い合わせについて

第5回支部運営Eメール会議

日時:平成26年12月13日

- 1)冬期スノースポーツ研修会参加者名簿、予算について

第6回支部運営Eメール会議

日時:平成26年12月15日

- 1)大体連総会に関する問い合わせについて

第7回支部運営Eメール会議

日時:平成26年12月16日

- 1)冬期スノースポーツ研修会参役割分担について

### II 研修会等事業

- ・夏期実技研修会(東海支部企画)

表現リズム遊び・表現運動・現代的なリズムのダンス研修会 参加者22名

平成26年7月26日(土) 10時～12時

南山大学 瀬戸キャンパス 多目的ホールにて開催

- ・ 冬期実技研修会(全国大学体育連合後援・東海支部主催)

研修内容: スキー・スノーボード研修会

開催期間: 平成26年12月26日(金)～28日(日)2泊3日 現地集合・解散

研修場所: 平湯温泉スキー場・ほおのき平スキー場

宿 舎: 岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯 平湯プリンスホテル

〒506-1433 高山市奥飛騨温泉郷平湯温泉 128-6

Tel: 0578-89-2323 Fax: 0578-89-2305

第16回冬期実技研修会を平成26年12月26日～28日の3日間、公益社団法人全国大学体育連合東海支部の主催、全国大学体育連合の後援で開催した。今回の研修会においても全国大学体育連合副会長をお引き受けいただいている中京大学学長北川薫先生のご参加をいただき、東海支部の活動を直接ご体験していただくことができた。参加者は関東から14名、四国九州から8名、近畿7名、信州北陸から3名、東海から29名、指導者6名総勢67名であった。

#### 課題研究

第1分科会: 骨粗鬆症の予防に関する研究

－大学生の骨密度、身体活動量、体格、生活習慣に対する意識調査－(その3)

#### 研究誌の発行

大学保健体育研究: 第33号(平成26年3月発行)

### Ⅲ その他の事業

協賛事業 (財)名古屋市教育スポーツ協会 「スポーツ実践相談」講師派遣

(公財)名古屋市教育スポーツ協会(NESPA)が実施している「スポーツ実践相談」に講師を派遣している。名古屋市内にあるスポーツセンター15カ所に15名の大学体育連合東海支部の大学教員を派遣し、スポーツ実践セミナーやスポーツ相談を行っている。

以上

## 平成26年度 北陸支部事業報告

### I 支部総会等会議

#### 1. 平成26年度支部運営委員会ならびに総会の合同会議

期 日：平成26年4月22日(火)

場 所：富山大学311教室

議 題：1) 協議事項

- ①平成26年度支部研修会の具体的内容等について
- ②平成27年度役員改選ならびに支部体制について
- ③その他

#### 2. 平成26年度支部運営委員会ならびに総会の合同会議

期 日：平成26年12月3日(水)

場 所：富山大学311教室

議 題：1) 報告事項

- ①平成26年度北陸支部事業報告について
- 2) 協議事項
  - ①平成26年度支部収支精算書(案)について
  - ②平成27年度事業計画(案)について
  - ③平成27年度予算(案)について
  - ④平成27年度役員改選ならびに支部体制について
  - ⑤その他

### II. 研修会等事業

#### 1. 平成26年度北陸支部夏季研修会

テーマ：①:『富山県発祥のニュースポーツ「ビーチボールバレー・フレッシュテニス」を体験し、ルールおよび指導法について学ぶ』

②:ゴルフ技術の学習(アプローチを中心として)

期 日：平成26年9月9日(火)～10日(水)

会 場：富山大学・呉羽カントリークラブ

主管校：富山大学

参加者：16名(講師2含む)

### III. その他の事業

特になし

以上

## 平成26年度 近畿支部事業報告

### I 支部総会等会議

#### 1. 第1回運営委員会

期日:平成26年6月14日(土)

場所:大阪大学豊中キャンパス 全学教育推進機構 総合棟 I

議題:平成25年度事業報告・会計報告について

平成26年度事業計画・予算案について

支部運営委員の変更について

支部運用規約の変更について

平成25年度支部長会・理事会等報告

その他

(参加11名)

#### 2. 第1回総会

期日:平成26年6月14日(土)

場所:大阪大学豊中キャンパス 全学教育推進機構 総合棟 I

議題:平成25年度事業報告・会計報告について

平成26年度事業計画・予算案について

支部運営委員の変更について

支部運用規約の変更について

平成25年度支部長会・理事会等報告

その他

(参加18名)

#### 3. 第2回運営委員会

期日:平成26年12月13日(土)

場所:大阪大学豊中キャンパス 多目的倉庫

議題:平成26年度事業報告・会計報告について

平成27年度事業計画・予算案について

支部事務局について

その他

(参加13名)

#### 4. 第2回総会

期日:平成26年12月13日(土)

場所:大阪大学豊中キャンパス 多目的倉庫

議題:平成26年度事業報告・会計報告について

平成27年度事業計画・予算案について

支部事務局について

その他

(参加21名)

### II. 研修会等事業

#### 1. 第1回講演会

期日:平成26年6月14日(土)

場所:大阪大学豊中キャンパス 全学教育推進機構 総合棟 I

題目:「スポーツにおける“暴力”と“教育”の微妙な線

講師:アレキサンダー・ベネット(関西大学)

要約:どんなスポーツや運動でも、最高のパフォーマンスを発揮するために様々な具体的かつ集中的な練習法を通して体力を増強することは非常に大切である。しかし指導者がアスリートの技術・体力・精神力をどんな方法で向上させようとするのかが、「鍛え」と「暴力」の間にある曖昧な「グレーゾーン」になる可能性がある。講演ではニュージーランド人の立場から剣道を中心にスポーツにおける「いじめ」や「暴力」と「教育」について考察し講演した。

(参加18名)

## 2. 第2回講演会

期日:平成26年12月13日(土)

場所:大阪大学豊中キャンパス 多目的倉庫

題目:「大学体育授業からのライフスキル教育」

講師:島本 好平(兵庫教育大学)

要約:「生きる力」に極めて類似した概念といわれる「ライフスキル」。この能力はスポーツ経験をはじめとしたさまざまな経験を通じて獲得することが可能と考えられている。当日は大学体育授業からのライフスキル教育についてスポーツを通じた「自己開示」をキーワードに講演を行った。

(参加24名)

## 3. 第1回実技研修会

期日:平成26年12月13日(土)

場所:大阪大学豊中キャンパス 第2体育館

題目:「バドミントンの技術指導」

講師:鷗木 千加子(甲南大学)

要約:大学体育において、学生の人気の高いバドミントンについて、技術指導面を中心に講習を行った。

(参加16名)

## Ⅲ. その他の事業

なし

以上

## 平成26年度 中四国支部事業報告

### I. 支部総会等会議

- 第1回支部総会 期日:平成26年5月 メール会議  
議題:平成25年度事業実施報告・平成25年度決算報告について  
その他
- 第2回支部総会 期日:平成26年11月29日(土)  
会場: 山口大学教育学部  
議題: 1. 平成26年度事業実施報告・平成26年度決算報告について  
2. 平成27年度事業計画・平成27年度予算案  
3. 次年度以降の支部役員について  
4. その他

### II. 研修会等事業

- ◆研修会 1 : 実技研修会  
日時: 平成26年1月12日(日)  
場所: 岡山大学 第2体育館  
題目: 「大学体育授業におけるドッチビー実技指導」  
講師: 林 昌永 日本ドッチビー協会プロデューサー  
曾我 充 日本ドッチビー協会チーフディレクター
- ◆研修会 2 : 実技研修会  
日時: 平成26年5月31日(土)  
場所: 岡山大学 清水記念体育館  
題目: 大学体育における卓球指導  
講師: 吉田 和人(静岡大学教育学部)
- ◆研修会 3 : 講演会  
日時: 平成26年6月7日(土)  
場所: 中国学園大学  
題目: 「子どものからだど心 白書2013」について  
講師: 野井 真吾(日本体育大学)
- ◆研修会4 : 講演会  
日時: 平成26年8月6日(水)  
場所: 岡山大学一般教育棟E11  
題目: 身体活動・運動と脳機能－海馬の可塑的変化を中心に－  
講師: 丹 信介(山口大学教育学部)
- ◆研修会5: 講演会  
日時: 平成26年10月18日(土)  
場所: 岡山大学教育学部講義棟5101教室  
題目: 子どもの足を守るシューエデュケーション・靴教育  
講師: 吉村 真由美(早稲田大学招聘研究員)

### III. その他の事業

- ◇熱中症に関する調査研究 (平成26年12月)  
○大学における運動部学生の熱中症と傷害の発生と予防に関する調査

以上

## 平成26年度 九州支部事業報告

### I 支部総会等会議

#### 1. 支部運営委員会

第1回支部運営委員会

期日:平成26年3月15日(土)

場所:ホテル龍登園

第2回支部運営委員会

期日:平成26年5月25日(日)

場所:九州大学筑紫キャンパス

第3回支部運営委員会

期日:平成26年9月14日(日)

場所:別府大学

#### 2. 支部総会

期日:平成26年3月16日(日)

場所:ホテル龍登園

#### 3. その他の会議

春期研修会打合せ会議

期日:平成26年1月25日(土)

場所:ホテル龍登園

春期研修会運営に関する会議

期日:平成26年3月15日(土)

場所:ホテル龍登園

九州支部事業企画検討会議

期日:平成26年10月5日(日)

場所:九州大学筑紫キャンパス

### II 研修会等事業

#### 1. 春期研修会:「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」

期日:平成26年3月15日(土)～16日(日)

場所:ホテル龍登園

参加者数:46名

#### 2. 夏期研修会:「大学体育授業における効果的なICTの活用の実際」

(九州体育・スポーツ学会との合同企画)

期日:平成26年9月12日(金)

場所:別府大学

参加者数:11名

### III その他の事業

#### 1. 九州地区大学体育連合機関誌「体育・スポーツ教育研究」第15巻第1号の発行補助

平成26年12月発行

以上